



東四つ木地域



学校づくりニュース

令和5年8月5日（土）渋江小学校を会場として、検討懇談会を開催しました。区内の施設一体型校舎の整備状況を共有した上で、前回の検討懇談会での意見を踏まえて、次の内容について話し合いました。

（1）検討経緯

少子化による人口減少が見込まれる中、一定の学校規模を確保し、教育環境の充実を図る必要があるため、早期に木根川小学校と渋江小学校を統合するとともに、学校統合を契機に、統合した小学校と中川中学校の施設一体型校舎を整備するという検討の方向性（案）を確認しました。

（2）施設一体型校舎のメリット・デメリット

東四つ木地域に3校の施設一体型校舎を整備するメリット・デメリットについて、子どもたちの教育環境の観点から意見交換を行いました。

主なメリット

- ① **中1ギャップの解消につながる**
小学生が身近に中学校の様子を体感することができ、不安感の解消につながることを期待できる。
- ② **小・中学校の教職員の連携を強化できる**
職員室を一体化して教員間で円滑な情報共有を行うことで、児童・生徒へのきめ細やかな対応やスキルアップによる指導の質の向上が期待できる。
- ③ **小学生と中学生の交流がしやすい**
- ④ **改築期間中の子どもたちへの負担を軽減できる**
小学校統合による学校跡地を改築することにより、子どもたちへの工事の影響を抑えながら、短期間で小・中学校を整備することができる。

主なデメリット

- ① **人間関係の固定化につながる**
9年間同じ校舎に通うため、積極的に異学年交流などの機会を設ける必要がある。
- ② **校庭が狭くなる傾向がある**

東四つ木地域の小学校と中学校それぞれの良さを残した3校の施設一体型校舎を整備し、子どもたちの教育環境を充実したいというご意見がありました。

また、デメリットよりもメリットの方が大きいという意見があった一方で、メリット・デメリットについては現時点での想定であり、精査してほしいとの意見もありました。

その他、中学校の生徒を他の地域に流出させないような工夫が必要との意見がありました。

（3）今後のスケジュール（案）

年内に検討の方向性がまとまった場合のスケジュール（案）の説明が事務局からありました。

小学校の単学級を可能な限り早期に解消するため、令和7年4月に木根川小学校と渋江小学校を統合すること。また、令和10年度中に3校の施設一体型校舎竣工との見通しが示されました。

今回、渋江小学校の施設見学会を実施したことで、3校の現状について認識を共有しました。これまで整備案の検討を行ってきた経緯を踏まえ、次回以降、引き続き3校の施設一体型校舎について、検討を進めていくこととしました。

次回の開催予定

- ・日時：9月9日（土）午後1時30分
- ・場所：中川中学校 2階 視聴覚室
- ・傍聴定員：10名程度



☞傍聴を希望される方は、QRコードからお申込み

※申込多数の場合は、先着順とさせていただきます。



東四つ木地域学校づくり検討懇談会

☎区公式ホームページにも学校づくりニュースを掲載しています。

☞東四つ木地域の学校適正規模に関するご意見等はこちらから

【担当事務局】

葛飾区教育委員会事務局
学校環境整備担当課
03-5654-6129